



# 災害に備えて

阪神・淡路大震災で影響を受けた地盤に『雨』が降ると、土砂災害の恐れがあります。  
特に、この梅雨時期『雨』に注意して下さい。  
災害から身を守る最大のポイントは、日頃の備え。  
二次災害を引き起こさないためにも、常に、いざという時の行動を頭に入れておきましょう。

## 土砂災害の危険があります

### 大雨・長雨にご注意を

阪神・淡路大震災で、山や河川そして宅地も大きな被害を受けました。

震災以降、市は、国・県の関係機関と

協力し、被災箇所などの復旧をはじめ宅地防災パトロールなど災害の防止に全力をあげて取り組んでいます。

今年も梅雨期・台風期をむかえ引き続き警戒が必要です。

特に、大雨が降ったり長雨が続き、山ろく部や河川の流域などでは、がけ崩れ、山崩れ、土石流や地すべりといった土砂災害が起こることが予想されます。

市は、大雨・長雨時には、現地パトロールを実施するなど警戒体制を強化しています。

災害のおそれがあるときは、避難勧告や指示を出しますので、これらの情報には十分注意してください。

また、避難勧告や指示が出ていなくても、周囲の状況を判断し、危険が予想されるときには、早めに避難所に避難してください。



### 避難所一覧表

名称	所在地	電話番号
三条小学校	三条町 39-20	34-0501
山手中学校 (南校舎のみ)	三条町 39-10	32-1122
西山幼稚園	西山町 22-15	32-5457
前田集会所	前田町 9-11	23-3899
山手小学校	山手町 8-3	32-1113
市立芦屋高等学校 (体育館のみ)	綱谷 9	32-1131
大原集会所	大原町 20-2	38-7782
市民センター	業平町 8-24	31-4995
上宮川文化センター	上宮川町 10-5	22-9229
朝日ヶ丘小学校	朝日ヶ丘町10-10	32-1115
朝日ヶ丘集会所	朝日ヶ丘町30-9	23-4896
岩園小学校	岩園町 23-41	32-1114
芦屋大学附属中・ 高等学校	六薮荘町 16-18	31-0666
岩園保育所	岩園町 2-18	31-0335
翠ヶ丘集会所	翠ヶ丘町 9-15	22-2475
精道小学校	精道町 8-25	32-1111
◎市立体育館 (復旧工事のため閉鎖中)	川西町 15-3	31-8228
茶屋集会所	茶屋之町 8-20	32-1232
竹園集会所	竹園町 5-6	22-2484
伊勢幼稚園	伊勢町 13-14	31-8313

名称	所在地	電話番号
宮川小学校	浜町 1-9	32-1112
県立芦屋高等学校	宮川町 6-3	32-2325
小槌幼稚園	打出小槌町15-7	22-4885
国立海技大学校	西蔵町 12-24	38-6202
打出浜小学校	新浜町 8-2	23-4581
精道中学校	南宮町 9-7	32-1121
春日集会所	春日町 13-17	32-5377
浜風小学校	浜風町 1-1	23-4591
浜風幼稚園	浜風町 1-2	31-1505
浜風集会所	浜風町 3-2	38-0960
新浜保育所	新浜町 1-1	32-0410
潮見小学校	潮見町 1-2	34-0721
潮見中学校	潮見町 20-1	34-1601
潮見集会所	潮見町 7-1	32-4359
奥池集会所	奥池南町 34-4	32-0763
県立芦屋コースホステル	奥池南町 40-30	38-0109
合計	36か所	

※土石流発生の恐れがある時：三条地区は市民センター、西山幼稚園へ避難。  
山手地区は山手小学校

◎今秋再開予定

## 避難所・ご存知ですか？

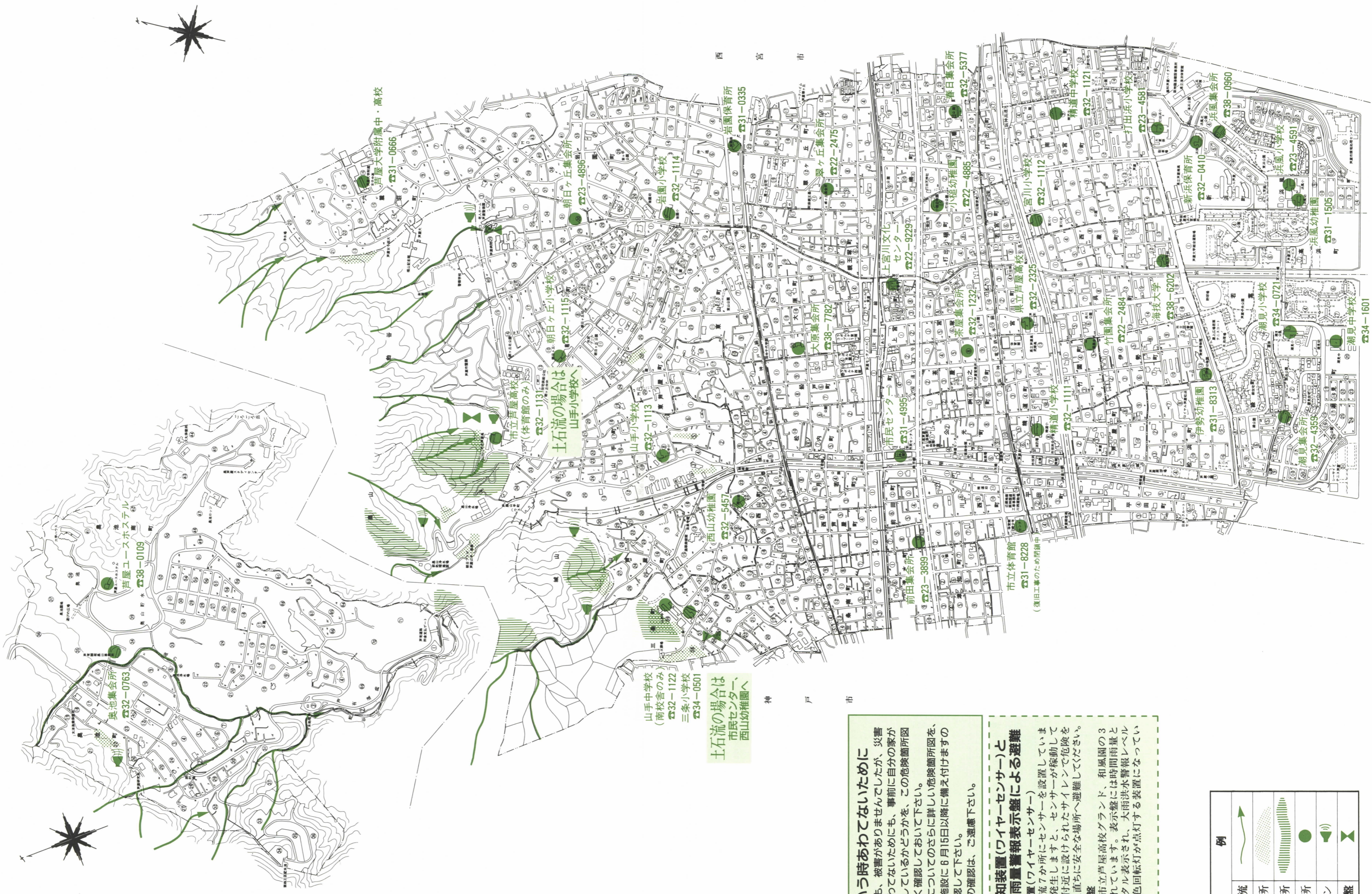
災害は地形や住宅環境によって被害の種類や程度が異なります。自分の住んでいる地域の特性をよく知ったうえで、正しく気象情報を読みとることが大切です。

また、市や警察などの広報車など(広範囲の場合はテレビ、ラジオも利用)から出される避難勧告・指示には、正しく、従ってください。

日ごろから避難所を家族で決めておくことが大切です。

一度、家族そろって避難所(避難所一覧表参照)まで歩いて確認しておきましょう。

# 避難所の所在地及び土砂災害の危険箇所図



**いざという時あわてないために**  
 昨年は幸いにも、被害がありませんでしたが、災害が発生した時あわてないためにも、事前に自分の家が危険地域に該当しているかどうかを、この危険箇所図を参考にし、よく確認しておいて下さい。  
 また、山沿いについてのさらに詳しい危険箇所図を、お近くの市公共施設に6月15日以降に備え付けますので、あわせて確認して下さい。  
 なお、電話での確認は、ご遠慮下さい。

**※土石流感知装置(ワイヤセンサー)と雨量警報表示盤による避難**  
 ○土石流感知装置(ワイヤセンサー)  
 特に危険な溪流7か所にセンサーを設置しています。土石流が発生しますと、センサーが稼働して下流の市街地付近に設けられたサイレンで危険を知らせますので、直ちに安全な場所へ避難してください。  
 ○雨量警報表示盤  
 三条北公園、市立芦屋高校グラウンド、和風園の3か所に設置されています。表示盤には時間雨量と総雨量がデジタル表示され、大雨洪水警報レベルに達すると赤色回転灯が点灯する装置になっています。

凡	例
土石流危険溪流	
がけ崩れ危険箇所	
山地災害危険箇所	
避難場所	
土石流サイレン	
雨量警報表示盤	

山中学校  
 (南校舎のみ)  
 ☎32-1122  
 三条小学校  
 ☎34-0501

**土石流の場合**  
 市民センター、  
 西山幼稚園へ

**土石流の場合**  
 市立芦屋高校、  
 山手小学校へ

青屋大学附属中・高校  
 ☎31-0666

☎34-1601

西宮市

神戸市

# いざというときの心がけ

## ▼土砂災害に備えて

1 気象情報にも、十分な注意を

大雨警報が発令されたときは、いつでも避難できるように準備しておきましょう。

過去の災害から、連続雨量が100mmを超え、かつ時間雨量が30mmを超えたときなどに災害発生確率が高くなっています。

2 まず避難してください。

次の「避難の心得」の各事項に注意し、早めに避難所に避難してください。

3 土砂災害の危険信号

気象情報とあわせ周囲の状況に注意してください。つぎのような前兆があれば、危険信号です。

●湧き水の量が増えてきた。または濁ってきた。

●今まで枯れることのない湧き水が止まった。

●山の斜面を水が走り始めた。または亀裂が走った。

●石が転がり落ちた。

●地鳴りの音が聞こえる。

4 宅地の注意信号

●石積みやコンクリートのような壁にひび割れ

や膨らみがある。

●溝などの排水施設が詰ったり、洩れたりしている。

●宅地の上や下のがけに変化が生じている。

5 大雨のおそれがあるときの対策

●家の回りの排水をよくし、下水や樋の中に溜まっている泥、塵などを取り除く。

●浸水のおそれがある家や低地では、家具、電気製品などをできるだけ高いところに移す。流れやすい物は、ロープや針金などで固定するが、安全な場所に移す。

6 「防災のしおり」も活用

台風、地震、火災等の災害に対する備え、また災害が発生したときの行動や災害についての知識を深めていただくため、平成8年末、各戸に配布した「防災のしおり」も活用してください。

なお、転入等で「防災のしおり」をお持ちでない方は、左記の所でお受け取りください。

- 市役所の受付
- ラポルテ市民サービスコーナー
- 各集会所

## 避難の心得

- ① 避難する前に、もう一度火を確かめて。
- ② 正しい情報(テレビ、ラジオ、市の広報など)を信じ、デマや噂に惑わされない。
- ③ ヘルメットや防災ずきんで頭の保護を。
- ④ 荷物は最小限にとどめ、できるだけ背負って両手をあけておく。
- ⑤ 外出中の家族には連絡メモを。
- ⑥ 避難は徒歩で車は厳禁
- ⑦ お年寄り、身体の不自由な人や子どもたちは、早めに避難させる。
- ⑧ 近所の人たちと集団で行動する。
- ⑨ 避難所へ移動するとき、狭い道・塀ぎわ・川べりなどは避ける。
- ⑩ 避難は指示された避難所へ。

## ▼家庭での備え

### 月に一度は防災会議を開こう

家族の防災意識を高め、各人の役割分担や連絡を確認するため、家庭で防災会議を開きましょう。定期的な話し合いの積み重ねで、いざというとき適切な行動がとれます。

話し合うテーマは、

- ① 地震などの災害が起こったときの身の守り方
- ② 家族がバラバラに離れているときに災害が発生した場合の連絡方法
- ③ 避難場所とそこへ行く道順
- ④ 火の始末、非常持ち出し品など非常時における家庭での役割分担

### 最低3日分の食料と飲料水などの備蓄を

食料などは市でも備蓄しており、災害発生後の調達体制も整備していますが、災害直後から安定的な配給を行うことは困難です。3日分の食料や飲料水、常備薬、生活必需品を必ず備蓄してください。

● 食料――3日分

- 主 食…米、乾パン、インスタント食品など
- 副 食…漬け物、梅干し、佃煮、缶詰など
- 調味料…みそ、しょうゆ、塩など

● 飲料水――一人につき一日3リットルの水を最低3日分(その他、多目的に使えるよう風呂に水を入れておく。)

● 救急医薬品――包帯、ばんそうこう、滅菌ガーゼ、三角巾、体温計、はさみ、ピンセット、傷薬、目薬、解熱剤、かぜ薬、常備薬など

● 非常持ち出し品――携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池、現金、貴重品、衣類、タオル、ティッシュペーパーなど

※その他、赤ちゃんのいる家庭では、ミルク、ほ乳瓶、離乳食、オムツ、着替えなどを用意しましょう。

# 日ごろの防災対策

## ▼地域での備え

### 自主防災組織をつくらう

災害が発生した場合、市は国や県をはじめ他の防災機関と総力をあげて防災活動を行います。阪神・淡路大震災のように、道路が不通になり、ライフラインが寸断され、同時に火災や倒壊家屋が発生すると、通常の場合と同じような活動を行うことはできません。

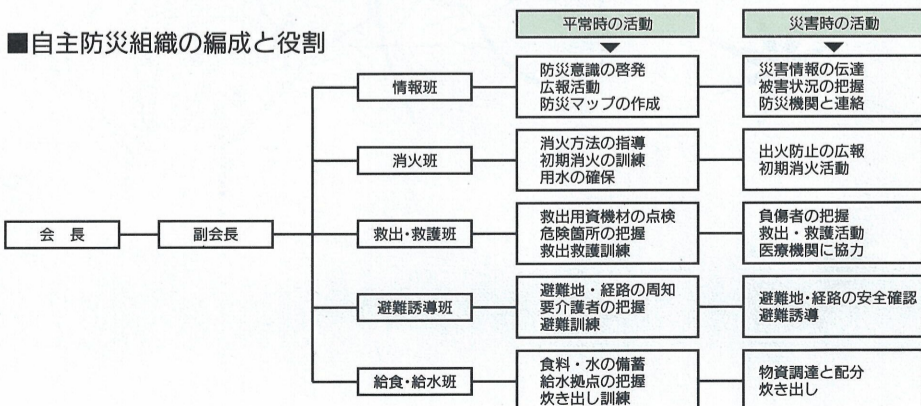
そんなときどうすれば良いのでしょうか。「自分たちの地域は自分たちで守る」つまり自主防災にならないのです。

しかし、各自がバラバラに動いても個人の力には限界があり、かえって危険な場合があります。隣近所の人と組織的に行動すれば、より大きな力が発揮できます。ここに自主防災の必要性和重要性があります。

自主防災の組織の単位は、自治会またはコミュニティなどが考えられます。市は「自主防災組織づくり」を重要課題の一つと考えておりますので、皆様で話し合いを持ちぜひ、設立していただき、すようご協力をお願いします。

つきに自主防災組織の編成と役割の一例を下図に示しますので参考になしてください。

■自主防災組織の編成と役割



## 防災訓練のお知らせ

関係機関の協力のもと、次のとおり防災訓練を行います。

- 1 日 時 平成9年6月5日(木) 9:30~12:00
- 2 訓練内容・場所

- (1) 情報収集伝達訓練等(市災害対策本部)
- (2) 避難所開設・避難誘導訓練  
朝日ヶ丘小学校・岩園小学校  
東山町自治会 参加
- (3) 水防訓練(芦屋川河口)
- (4) 救護所開設訓練(保健センター)

※霊園内・和風園前に設置されている土石流サイレンが10時30分から1分間鳴ります。

問い合わせ……企画財政部防災対策課 ☎388-2093

